

環境マネジメントシステム 活動報告書

令和4年度



亀岡市役所

亀岡市役所温暖化対策基本方針

基本理念

地球温暖化は世界的に年々深刻化しており、平均気温の上昇、雪氷の融解、水位の上昇等が観測されています。日本においても平均気温の上昇のほか、暴風雨などによる被害の深刻化、農産物や生態系への影響等が出てきており、地球温暖化を防止することは世界共通の重要な課題となっています。

亀岡市では2021年2月に「かめおか脱炭素宣言」を表明し、2050年までに市内から排出される二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることを目指しています。

地球温暖化による環境問題の解決に向けて、市民、事業者、行政などすべての関係者の参加と協働のもと、それぞれが意識を持って温室効果ガスの排出抑制に努め、豊かな自然環境を未来につなげる持続可能なまちづくりを進めていくことが必要です。

亀岡市役所は、市内の温室効果ガス排出量が比較的大きい事業所であり、自らの事務・事業により排出される温室効果ガス排出量の実質的な削減に努める必要があることから、脱炭素化に向けた取組を定め、率先的な取組を行うことにより、地域の模範となる地球温暖化対策を推進します。

行動指針

亀岡市は、基本理念の実現に向けて次の取り組みを推進します。

1. 脱炭素化の実現へ向け、市の事務・事業における温室効果ガスの総排出量を削減します。
2. 施設等におけるエネルギー（電気、燃料、熱等）の使用量を削減するとともに、電力がピークとなる季節や時間帯の電力抑制に努めます。
3. 公共施設への再生可能エネルギーの導入率を100%とすることを目指し、再生可能エネルギーの利用を促進します。
4. 公共施設のLED化や省エネルギー機器への更新を推進します。
5. 公用車の更新、導入にあたっては電気自動車・ハイブリッド車・燃料電池車等の低公害車を積極的に導入します。
6. エコドライブの取組等を通じて、公用車及び通勤車における燃料使用量を削減します。
7. 市の事務・事業におけるごみの排出量を削減します。
8. 温暖化対策基本方針及び本システムの運用成果は、随時公表します。

【亀岡市役所温暖化対策環境マネジメントシステムが目指すSDGs】



令和4年 4月 1日

亀岡市長 桂川 孝裕

目的

●本システムの目的

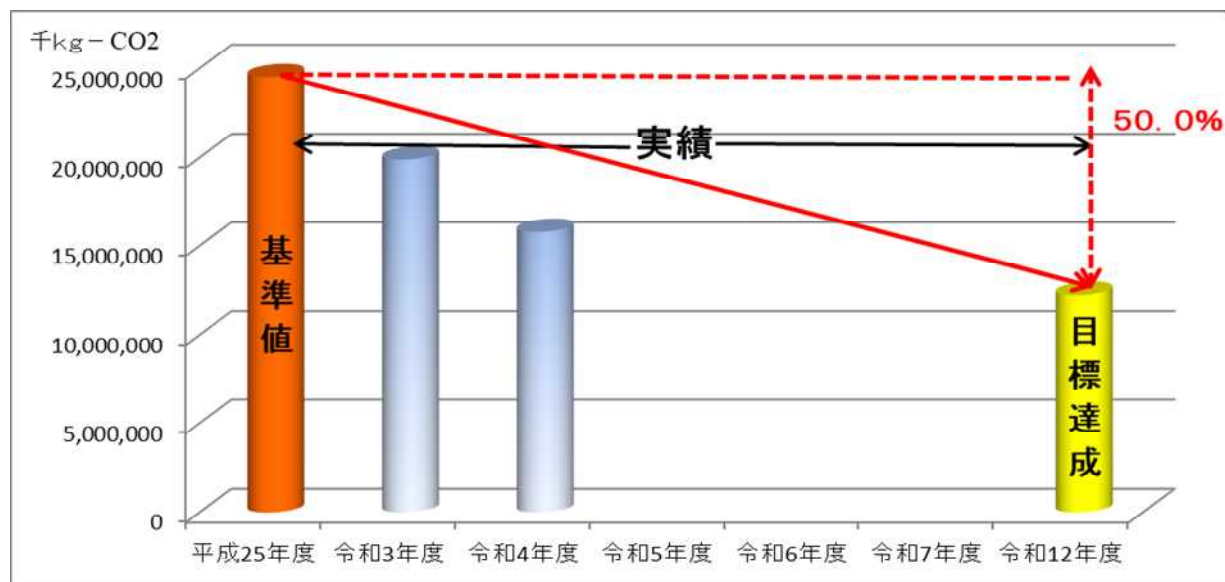
市役所の事務・事業における地球温暖化対策の推進

目標

●法令に基づく目標

平成25年度を基準として令和12年度までに市の事務・事業における温室効果ガス排出量を50%削減することを目標とする。

温室効果ガス排出量 (実績と目標)



温室効果ガス排出量（CO2換算）

※平成25年度を基準に令和12年度までに温室効果ガスの総排出量を50%削減する目標を設定

区分		単位	年度	数量	R3/H25 R4/H25	CO2排出量 (kg)	R2/H25 R3/H25	構成比
燃料使用量	ガソリン	ℓ	H25	46,026		106,780		0.4%
			R3	37,939	△17.6%	88,018	△17.6%	0.4%
			R4	39,289	△14.6%	91,151	△14.6%	0.6%
	灯油	ℓ	H25	333,425		830,228		3.4%
			R3	294,177	△11.8%	732,501	△11.8%	3.7%
			R4	270,844	△18.8%	674,403	△18.8%	4.3%
	軽油	ℓ	H25	97,586		251,772		1.0%
			R3	106,497	9.1%	274,762	9.1%	1.4%
			R4	102,711	5.3%	264,994	5.3%	1.7%
	A重油	ℓ	H25	83,316		225,786		0.9%
			R3	14,427	△82.7%	39,097	△82.7%	0.2%
			R4	8,279	△90.1%	22,437	△90.1%	0.1%
LPG	m³	H25	10,555		63,013		0.3%	
		R3	8,812	△16.5%	57,719	△8.4%	0.3%	
		R4	9,280	△12.1%	60,781	△3.5%	0.4%	
電力使用量		kwh	H25	24,619,500		12,654,423		51.6%
R3	22,108,291		△10.2%	7,431,873	△41.3%	37.4%		
R4	22,213,072		△9.8%	6,066,123	△52.1%	38.4%		
公用車走行量		km	H25	937,540		6,699		0.03%
R3	889,126		△5.2%	6,208	△7.3%	0.03%		
R4	893,018		△4.7%	6,234	△6.9%	0.04%		
一般廃棄物	焼却量 (廃プラスチックを除く。)	t	H25	21,411		362,286		1.5%
			R3	19,782	△7.6%	334,724	△7.6%	1.7%
			R4	19,972	△6.7%	337,935	△6.7%	2.1%
	一般廃棄物に含まれる 廃プラスチック焼却量	t	H25	3,286		9,085,790		37.1%
			R3	3,645	10.9%	10,078,425	10.9%	50.7%
			R4	2,692	△18.1%	7,443,380	△18.1%	47.1%
廃棄物の埋立処分量		t	H25	2,032		222,150		0.9%
R3	955		△53.0%	157,825	△29.0%	0.8%		
R4	817		△59.8%	150,625	△32.2%	1.0%		
下水処理量 (終末処理場)		m³	H25	9,668,773		673,720		2.7%
R3	9,857,400		2.0%	686,864	2.0%	3.5%		
R4	9,572,736		△1.0%	667,028	△1.0%	4.2%		
し尿処理量 (し尿処理施設)		m³	H25	14,017		17,201		0.1%
R3	0		皆減	0	皆減	0.1%		
R4	0		皆減	0	皆減	0.0%		
浄化槽		人	H25	297		6,416		0.0%
R3	212		△28.6%	4,580	△28.6%	0.0%		
R4	212		△28.6%	4,580	△28.6%	0.0%		
四捨五入による 数値誤差の調整			H25			1		
			R3			1		
			R4			0		
合計			H25			24,506,267		100.0%
			R3			19,892,597	△18.8%	100.0%
			R4			15,789,672	△35.6%	100.0%

令和4年度温室効果ガス排出量対比表（平成25年度対比）

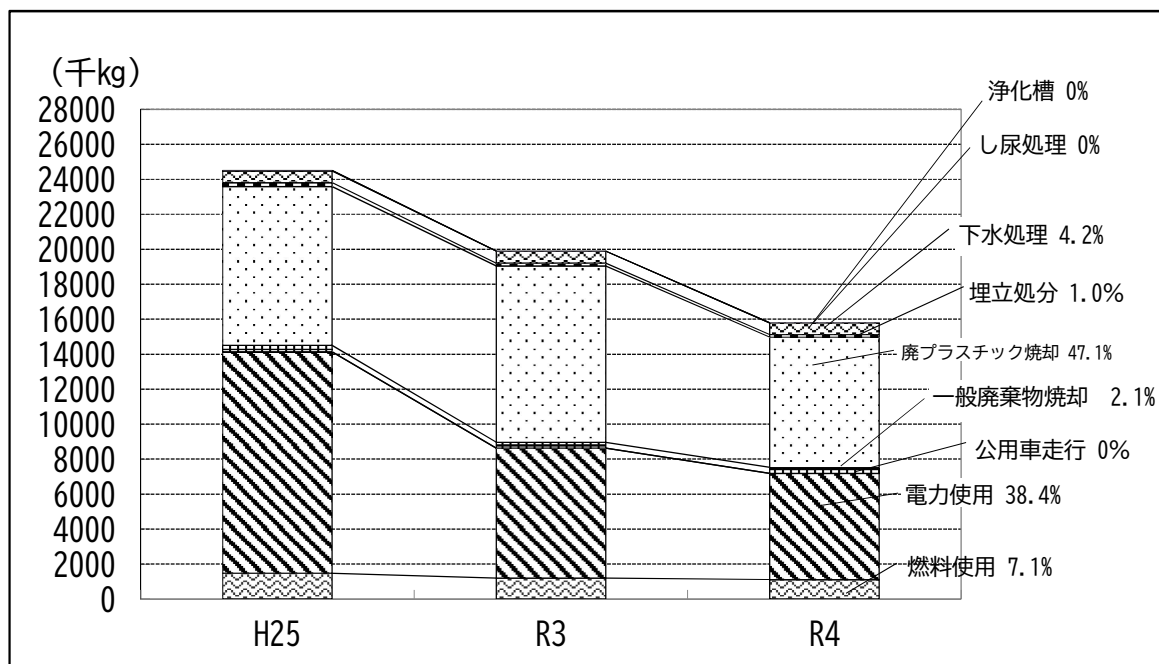
●温室効果ガス（CO₂）排出量合計（一覧表）

CO₂排出量（kg）

年度	燃料使用	電力使用	公用車走行	一般廃棄物焼却	廃プラ焼却	埋立処分	下水処理	し尿処理	浄化槽	CO ₂ 排出量合計
H25	1,477,581	12,654,423	6,699	362,286	9,085,790	222,150	673,720	17,201	6,416	24,506,267
R3	1,192,098	7,431,873	6,208	334,724	10,078,425	157,825	686,864	0	4,580	19,892,597
R4	1,113,766	6,066,123	6,234	337,935	7,443,380	150,625	667,028	0	4,580	15,789,672
対H25	△24.6%	△52.1%	△6.9%	△6.7%	△18.1%	△32.2%	△1.0%	皆減	△28.6%	△35.6%

平成25年度比で温室効果ガスを35.6%削減することができました。

●温室効果ガス（CO₂）排出量合計（グラフ）

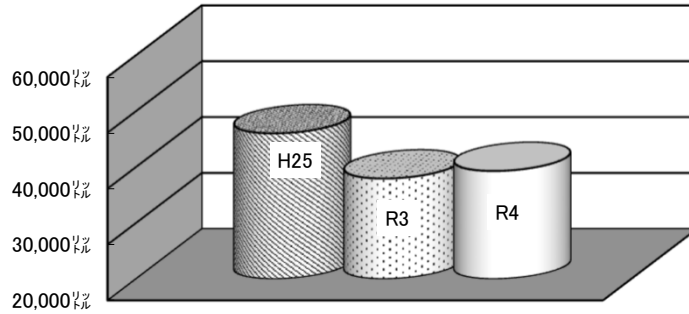


令和4年度 環境マネジメント調査結果

○ガソリン使用量

数量

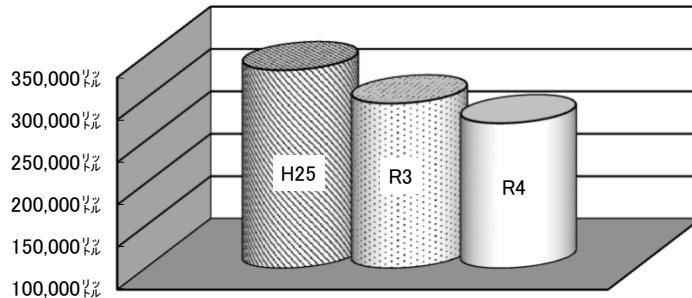
平成25年度	46,026ℓ	
令和3年度	37,939ℓ	(△17.6%) 平成25年度対比
令和4年度	39,289ℓ	(△14.6%) 平成25年度対比



○灯油使用量

数量

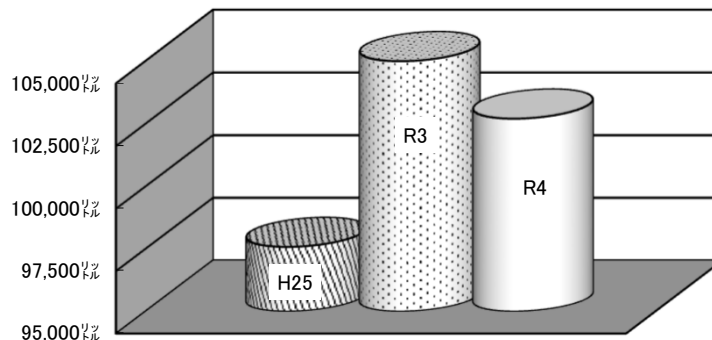
平成25年度	333,425ℓ	
令和3年度	294,177ℓ	(△11.8%) 平成25年度対比
令和4年度	270,844ℓ	(△18.8%) 平成25年度対比



○軽油使用量

数量

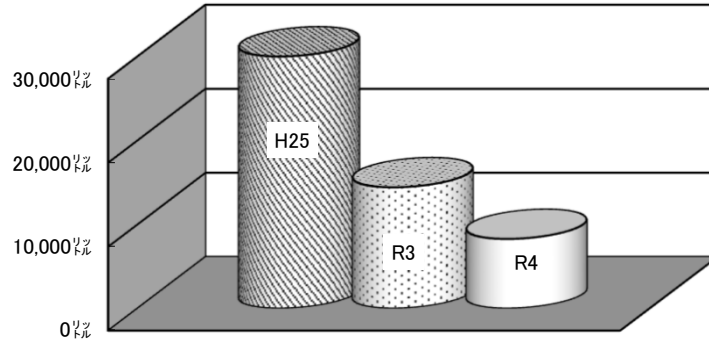
平成25年度	97,586ℓ	
令和3年度	106,497ℓ	(9.1%) 平成25年度対比
令和4年度	102,711ℓ	(5.3%) 平成25年度対比



○A重油使用量

数量

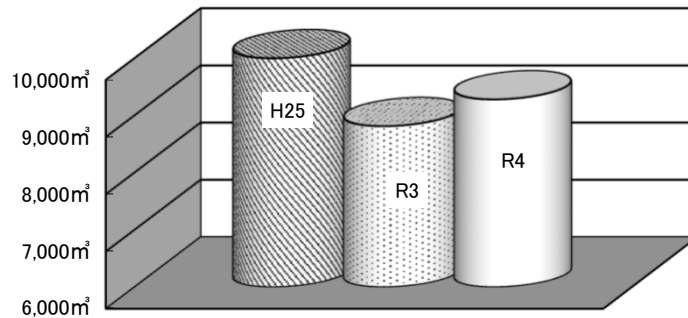
平成25年度	83,316%	
令和3年度	14,427%	(△82.7%) 平成25年度对比
令和4年度	8,279%	(△90.1%) 平成25年度对比



○LPG使用量

数量

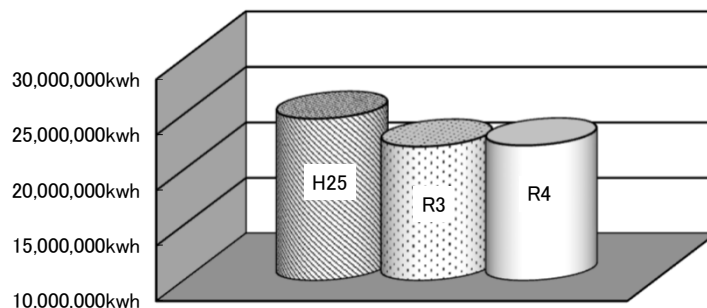
平成25年度	10,555m ³	
令和3年度	8,812m ³	(△16.5%) 平成25年度对比
令和4年度	9,280m ³	(△12.1%) 平成25年度对比



○電力使用量

数量

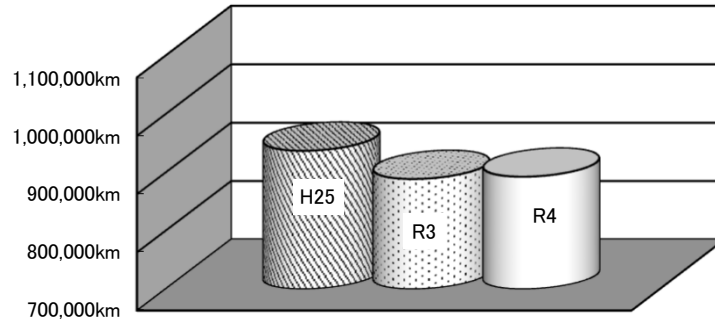
平成25年度	24,619,500kwh	
令和3年度	22,108,291kwh	(△10.2%) 平成25年度对比
令和4年度	22,213,072kwh	(△9.8%) 平成25年度对比



○公用車走行量

数量

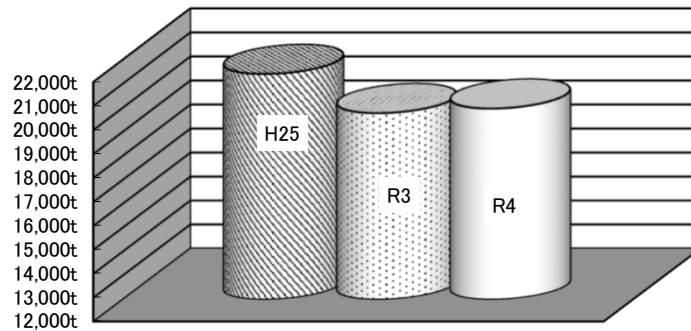
平成25年度	937,540km	
令和3年度	889,126km	(△5.2%) 平成25年度対比
令和4年度	893,018km	(△4.7%) 平成25年度対比



○一般廃棄物焼却量

数量

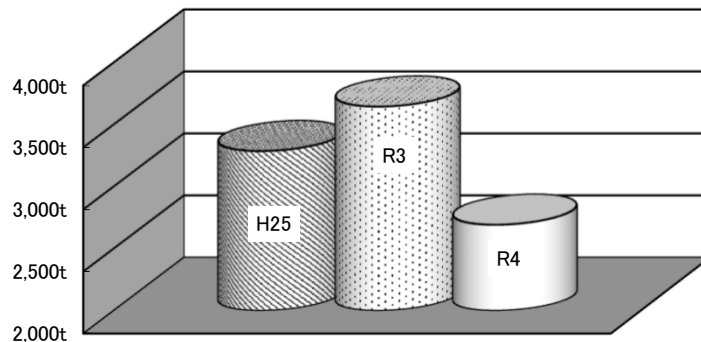
平成25年度	21,411t	
令和3年度	19,782t	(△7.6%) 平成25年度対比
令和4年度	19,972t	(△6.7%) 平成25年度対比



○一般廃棄物に含まれる廃プラスチック焼却

数量

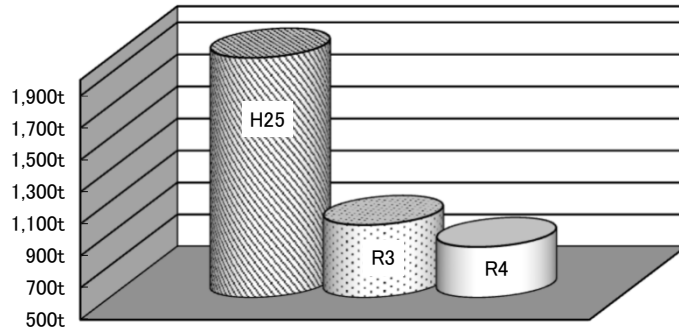
平成25年度	3,286t	
令和3年度	3,645t	(10.9%) 平成25年度対比
令和4年度	2,692t	(△18.1%) 平成25年度対比



○廃棄物の埋立処分量

数量

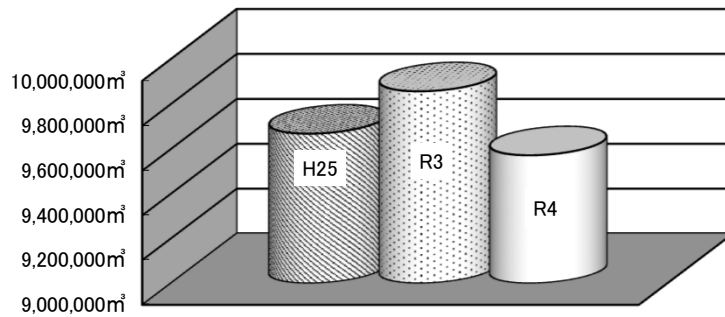
平成25年度	2,032t		
令和3年度	955t	(△53.0%)	平成25年度対比
令和4年度	817t	(△59.8%)	平成25年度対比



○下水処理量

数量

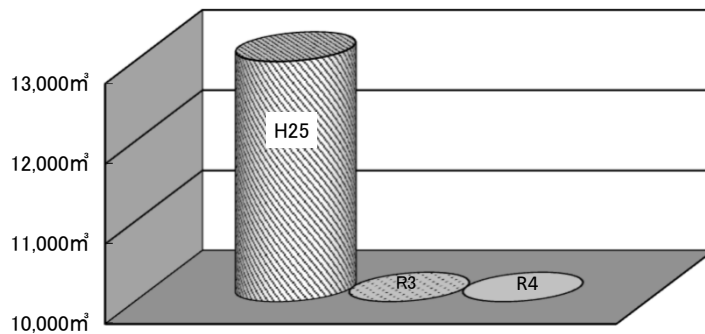
平成25年度	9,668,773m ³		
令和3年度	9,857,400m ³	(2.0%)	平成25年度対比
令和4年度	9,572,736m ³	(△1.0%)	平成25年度対比



○し尿処理量

数量

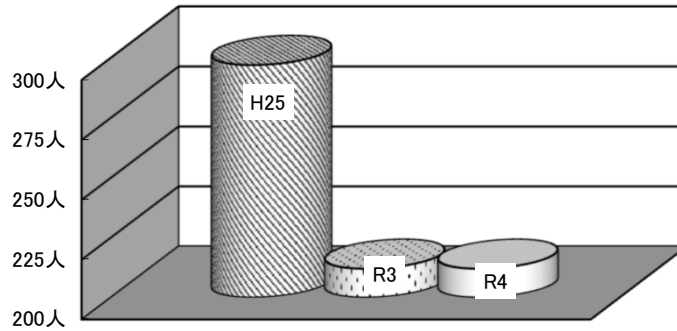
平成25年度	14,017m ³		
令和3年度	0m ³	(皆減)	平成25年度対比
令和4年度	0m ³	(皆減)	平成25年度対比



○浄化槽

数量

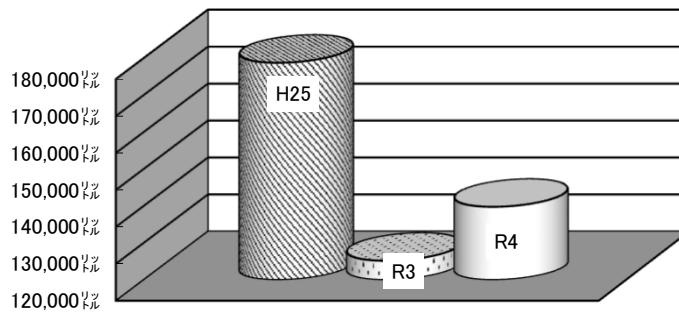
平成25年度	297人	
令和3年度	212人	(△28.6%) 平成25年度対比
令和4年度	212人	(△28.6%) 平成25年度対比



○職員通勤車の燃料使用量

数量

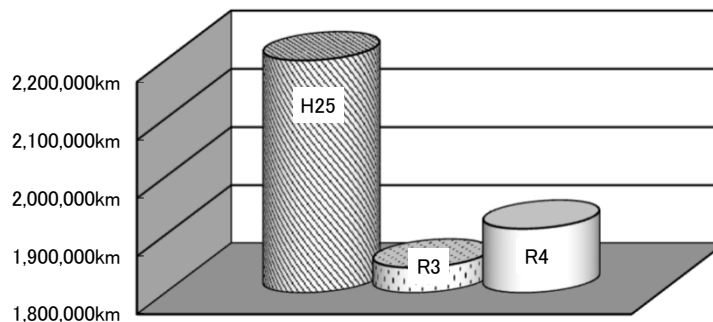
平成25年度	178,769ℓ	
令和3年度	125,180ℓ	(△30.0%) 平成25年度対比
令和4年度	139,775ℓ	(△21.8%) 平成25年度対比



○通勤車走行量

数量

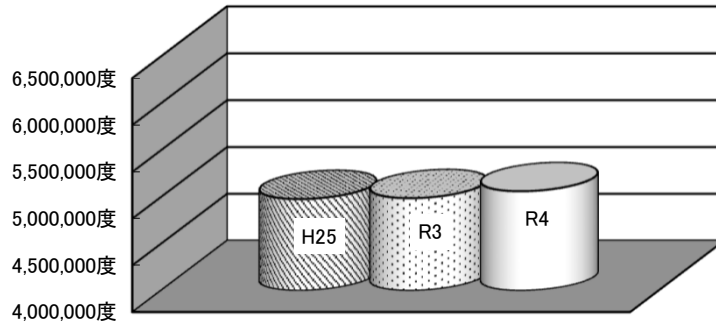
平成25年度	2,229,613km	
令和3年度	1,843,515km	(△17.3%) 平成25年度対比
令和4年度	1,910,514km	(△14.3%) 平成25年度対比



○コピー使用度数

数量

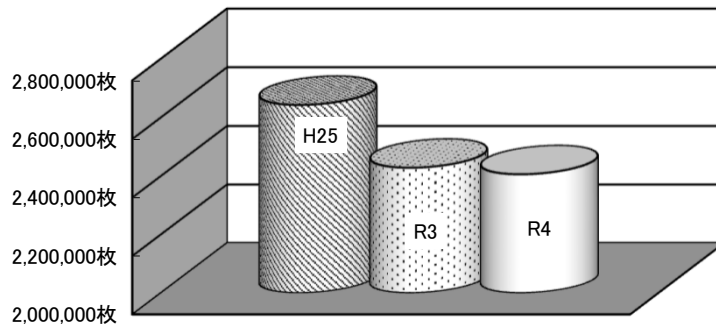
平成25年度	4,979,159度	
令和3年度	4,988,344度	(0.2%) 平成25年度対比
令和4年度	5,062,777度	(1.7%) 平成25年度対比



○コピー用紙購入量

数量

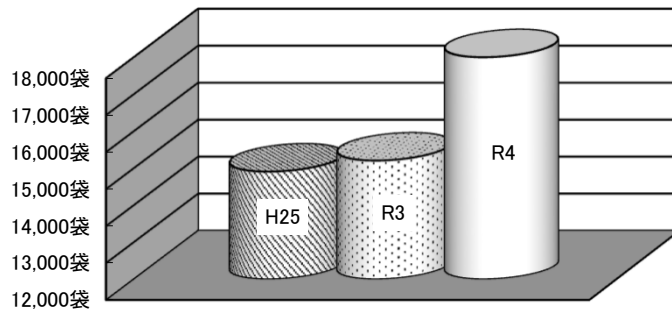
平成25年度	2,642,750枚	
令和3年度	2,428,400枚	(△8.1%) 平成25年度対比
令和4年度	2,406,027枚	(△9.0%) 平成25年度対比



○ごみ袋発生量

数量

平成25年度	14,908袋	
令和3年度	15,206袋	(2.0%) 平成25年度対比
令和4年度	18,433袋	(23.6%) 平成25年度対比



施設のエネルギー使用量について

部・室名	令和3年度	令和4年度	増減理由
生涯学習部	692.6	734.1	コロナウイルス感染症の対策緩和により、各施設の利用者が増加しています。部全体のエネルギー使用量は昨年度と比較し41.5kℓ増加していますが、特にガレリアかめおかの使用増加が顕著であり38.1kℓもの増加がありました。
総務部	536.9	542.0	コロナウイルス感染症の対策緩和により、通常の勤務体制に戻り、夜間の電気使用量がやや増加しています。昨年と比較し5.1kℓ使用量が増加しています。
環境先進都市推進部	836.2	813.7	桜塚クリーンセンターから庁舎への人員異動、LED化の推進、修繕に伴う機器の停止や停電を行ったため、電気使用量が下がっています。部全体で22.5kℓ減少しています。
市民生活部	72.2	74.3	火葬件数の増により燃料使用量が増加しています。昨年と比較し2.07kℓ増加しました。
健康福祉部	63.8	71.1	コロナウイルス感染症の対策緩和により、施設の利用者数に回復傾向がみられるため、電気使用量が増加しています。昨年度と比較しエネルギー使用量が7.3kℓ増加しています。
こども未来部	137.1	147.9	昨年度までと同様、各保育施設では感染症対策により、換気を行いながら空調を稼働させているため、電気使用量が増加する傾向にあります。昨年度と比較し10.8kℓ増加しています。
産業観光部	236.8	229.8	各施設の電力使用量や、燃料使用量の減少により昨年度と比較し7.0kℓ減少しています。
まちづくり推進部	246.2	271.0	部全体としてLED化を進めておられ、電気使用量が減少傾向にあります。運動公園については、コロナウイルス感染症対策緩和により利用者数の回復が顕著であるため、部全体としては24.8kℓの増加となりました。
上下水道部	2,987.4	2,999.7	上下水道部庁舎移転により灯油及び重油を用いた暖房器具が廃止されました。また、電気使用量も2割程度減少しています。しかし、令和4年2月からの南丹市方面への送水量の増加に伴い電気使用量が大きく増加しています。エネルギー使用量は昨年度と比較し12.2kℓの増加となっています。
合計 (kℓ)	5,809.3	5,883.6	74.3

- ※ エネルギー使用量を原油換算 (kℓ) にして表記しています。
- ※ 施設を有する部等のみ対象としています。
- ※ 指定管理施設も調査対象としています。
- ※ 教育部・市立病院は省エネ法で別サイトとなりますので表示していません。